

バイオマス取組事例概要

(農振興局長賞)

九州

- 応募主体 みやざきバイオマスリサイクル株式会社
- 都道府県・市町村 宮崎県川南町
- 取組分野 発電(鶏糞)

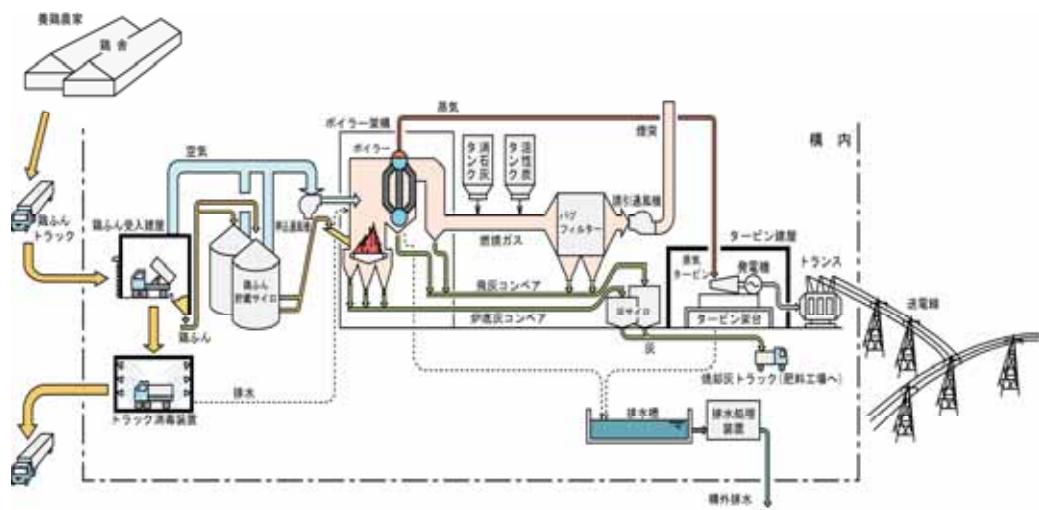
取組概要

鶏糞焼却による灰(肥料原料)の販売と焼却熱を利用したバイオマス発電

みやざきバイオマスリサイクル(株)は、平成15年5月に、鶏糞の焼却による焼却灰(肥料原料)の製造・販売と焼却時の熱を利用した発電(売電)を行い、資源循環とバイオマスエネルギーの有効活用を目的として設立された。

宮崎県内から発生する鶏糞(13.2万t/年)をボイラーで焼却し、焼却灰(11,000t/年)を肥料原料とする一方、焼却熱の全てを電気エネルギーに変換するシステムを有しており、6,900万kWh年を発電し、その約87%にあたる6,000万kWh/年をバイオマス電力として九州電力に売電している。

(平成17年5月に営業運転を開始)



鶏ふん焼却ボイラー設備



みやざきバイオマスリサイクル株全景